

第 7 回古賀市基本構想審議会における事前質問・意見と回答【子育て】

No.	資料	ページ	質問・意見	回答	担当部署
1	資料 6	23 ページ	<p>目的</p> <p>いまや当たり前となった共働き夫婦の増大による多様化した家庭生活において、少子化は深刻な問題である。アンケート調査では子育て世代が子どもを持たない大きな理由に「子育てにお金がかかる」と上がっている。このように金銭的不安と家庭に滞在する時間の短縮化など、多様化する家庭生活の実態が子育てに関する不安や悩みの増大につながっていると考えられる。少子化問題の解決の糸口になるよう、負担の軽減や環境整備が求められる。誰もが安心してできる切れ目のない長い期間の子育て支援が必要である。</p> <p>施策①子育ての経済的負担の軽減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひとり親、低所得者世帯への支援 ・全体的な子育てに関する支援は、アンケートの導入などを踏まえ、多様化する変化に合うようアクションプランにおいて切れ目のない施策を立案。 <p>施策②保育サービスの充実（本文通り）</p> <p>施策③</p> <p>相談機関の充実と、またその内容を踏まえ、子育ての負担軽減や実質的な問題解決へと導くための行政サービスの在り方を模索していくため、子育て世代参画のワークショップやアンケートを実施し、問題に付随したきめ細やかな施策をアクションプランで計画する。</p>	<p>ご意見の目的に記載されている趣旨につきましては、お示ししている案に盛り込まれており、他の施策における「施策の方向性」の表現方法とのバランス等も考慮し、修正の必要はないと考えておりますが、ご意見の内容については、今後の取組のなかで参考とさせていただきます。</p>	経営戦略課

第7回古賀市基本構想審議会における事前質問・意見と回答【商工業・観光】

No.	資料	ページ	質問・意見	回答	担当部署
2	資料6	31ページ	<p>■1 活気とにぎわいを創り出す商工業の活性化</p> <p>古賀駅西口活性化で、エリアマネジメントの木藤亮太さんが市役所の全部の課の職員を対象に勉強会が行われているようですが、とてもいい取り組みだと思いました。西口の活性化には老若男女のすべての方の協力が必要かと思えます。それは、子育てや、環境、保健福祉、産業経済、すべてに関わってくるので今後も継続して市役所での木藤亮太さんの勉強会を開催していただきたいです。そして古賀市民の皆さんにも協力してもらえよう、オンラインでもいいのでたくさん講演会で周知してほしいです。</p>	<p>昨年度はまちづくりに対する職員の意識を変え、複数の部署が横断的に関わりを持てるようセミナーを4回開催し、また西口エリア事業者さんや全市民を対象としたキックオフセミナーをオンラインと併用しながら開催しました。このような取組は、多くの方に広く知っていただく機会が確保でき、効果があるものと認識しております。今後も時機を見つつ、開催する目的を決めたうえで勉強会や意見交換会などを開催していきたいと考えております。</p>	商工政策課
3	資料6	31ページ	<p>■3 魅力あふれる観光の活性化</p> <p>地域資源の魅力で筵内の「菜の花まつり」が抜けていることが気になりました。それと同時に古賀市は自然にあふれていて魅力たっぷりの地域なので市の花である【コスモス】の見どころを作るべきだと思います。サンコスモやコスモス広場など施設の名前にまで付けてあることすし市の花としてもっと全面的にPRしていくべきだと思います。春は興山園の桜、清滝の桜、筵内の菜の花、秋は興山園の紅葉、それに秋桜を植えられ名所を作れば観光客も増えると思います。コロナ化で散策人口は増えています。</p>	<p>お示ししている案には、市内でも特に規模が大きく、市民や事業者など多くの関係者が関わるイベントとして「まつり古賀」、「食の祭典」を記載しております。</p> <p>「なの花まつり」など、古賀市を訪れる人や市民が魅力を感じるイベントや名所は多くありますが、すべてを記載することは難しく、現状の案とさせていただきます。</p> <p>なお、「なの花まつり」も市内外から多くの来訪者を呼べる素晴らしいイベントであると認識しており、「なの花まつり」を含む観光に係る各種のイベント等についても、引き続き観光振興策として取り組んでいきます。</p>	商工政策課

第7回古賀市基本構想審議会における事前質問・意見と回答【都市基盤】

No.	資料	ページ	質問・意見	回答	担当部署
4	資料6	33ページ	<p>■政策の目的</p> <p>道路についても政策の目的にしてほしいとの意見について「道路は公共インフラのひとつであり、上下水道、公園などとともに整備されるべきものであるため、政策の目的には道路のみを記載することはいたしません」との回答があったが、市民にとって重要であることを考慮して、道路だけでなく上下水道、公園を同時に記載すべきではないか。</p>	<p>公共インフラは、市民が利便性の高い生活環境のなかで快適に暮らせるよう整備されるものであり、お示ししている案で表現されているものと考えております。また、他の政策における「政策の目的」の表現方法とのバランスも考慮し、修正しない旨の回答をさせていただきます。</p> <p>なお、インフラの整備が市民にとって重要であることについては、ご意見のとおり、市としても認識しております。</p>	経営戦略課
5	資料6	33ページ	<p>■3 快適な道路網の整備</p> <p>古賀駅西口の細い道路（加藤歯科やジュニーヤさん、心の駅さん等がある時間によって一方通行になる通り）ですが、狭い道路で、子どもや高齢者が通るにはとても危なく、たまに車が壁にこすったりぶついたりとても危ないです。あの通りのお店の皆さんからの声でよく聞きます。</p> <p>西口を活性化するなら、あの通りを誰でも安心して歩ける安心してお店に行けるように、周辺住民や周辺事業所の意見を調査し、取り入れて歩行者天国にする時間を作る等をアクションプランで是非検討してほしいです。そうすると、人通りも増え、賑やかになると思いますので西口の活性化に繋がると思います。</p>	<p>ご意見いただきました道路の状況につきましては、市としても把握しております。市では現在、古賀駅西口エリアの活性化に向けた取組などの検討を始めており、今後、当該道路を含めた周辺の道路の利用方法などについても周辺住民等の意見を伺いながら検討を進めることになるものと考えております。</p>	商工政策課 建設課

第7回古賀市基本構想審議会における事前質問・意見と回答【公共交通】

No.	資料	ページ	質問・意見	回答	担当部署
6	資料6	33ページ 34ページ	<p>■3 快適な道路網の整備</p> <p>誰もが快適に移動できるよう→という文章もありますし、コガバスくらいのワゴン車で小野地区の高齢者も公共機関に行けるようにしていくべきだと考えます。高齢になっても安心して暮らしができるまちであってほしいと思います。駅前のにぎわいを創出するのは大いに賛成ですが、そういった方のお気持ちにも寄り添って頂きたいと思います。車の免許返納後も外出出来るよう利便性、快適性を考えてもらいたいです。そうじゃないと後継者不足にも繋がると思うからです(便利が悪いなら町の方へ出ていき戻ってこなくなるとか…)。薬王寺温泉のリノベーション計画もありますし都心部の方が車ではなく電車とバスで気軽に来られるようになっていくべきだと思っています。駅前からの一日2往復くらいが希望です!!</p>	<p>公共交通については、ご指摘いただいている点も含め、さまざまな方策を検討し、誰もが快適に移動できる状況をめざしていきたいと考えており、いただいたご意見も踏まえて、今後の取組の参考とさせていただきます。</p>	経営戦略課

第7回古賀市基本構想審議会における事前質問・意見と回答【防災】

No.	資料	ページ	質問・意見	回答	担当部署
7	資料6	35ページ	<p>防災の観点で、女性の視点が全く入っていない。内閣府の防災復興計画指針等では災害時の安全の確保・復興課題における女性参画の促進と記載がある。NHKの番組では被災地において被災者の女性がレイプの被害にあっていることが放映された。夫を亡くして小さい子を抱えた女性を助けた親切な男性が布団にもぐりこんできたという例、欲しかったものをあげる代わりに、という事例もある。その当時は我慢せざるを得なかったと考えられる。集団で引き込まれて性暴力にあった例もある。熊本の災害があったときは、性暴力防止の啓発活動も早くから始まった。女性の視点を取り入れた防災計画、女性の防災リーダーの育成に力を入れている自治体もある。</p>	<p>お示ししている案（26ページ：政策1-4 人権と多様性の尊重）におきまして、家庭、学校、職場、地域社会等、あらゆる分野での女性の社会参画について記載しており、「あらゆる分野」には防災分野も含まれております。</p> <p>ご意見のとおり、防災分野での女性の視点は重要であると考えており、「古賀市地域防災計画」にも記載しておりますとおり、女性の視点を踏まえた避難所運営が行えるように災害発生時の対応力を培った女性リーダーを育成するなど、災害予防、応急対策、復旧・復興の各段階において女性の参画を推進していきます。</p> <p>なお、基本構想案に掲げるすべての政策・施策において、女性だけでなく、子ども、高齢者、障がいのある人、病気やけがをしている人、外国人など、年齢、性別、性的指向・性自認、障がいのあるなし、国籍などのさまざまな事情に対する配慮が必要であり、そのような視点で基本構想案を作成しております。</p>	総務課

第7回古賀市基本構想審議会における事前質問・意見と回答【環境】

No.	資料	ページ	質問・意見	回答	担当部署
8	資料6	36ページ	<p>■分野別の現状と課題：環境</p> <p>外来生物のことに触れていますが、ここ数年花鶴～美明地区で夏にセアカゴケグモが大発生しています。なかなか市役所に連絡する方は少ないですが、道路沿いのパイプ型のガードレールに毎年たくさん発生していて子どもたちの登下校には特にとても危険です。昨年一度だけ市役所の環境課の方に来ていただきましたが、よくある殺虫剤をまいているだけで不安でした。毒蜘蛛に刺されてから動き出すのは遅いと思います。もっとしっかりと点検、消毒作業や専門家派遣や業者の手配等の徹底をお願いしたいです。他の市町村ではテレビのニュースになるほど徹底されているところもあります。</p>	<p>セアカゴケグモは繁殖力が非常に強く、どこで見つかってもおかしくない状況であり、古賀市内でもすでに定着している地域があります。</p> <p>なお、セアカゴケグモは攻撃性はなく、おとなしいクモで、素手で触れない限り咬まれることはありませんが、市民などからの情報提供があった場合には、現場の確認や防除に関する助言をしており、行政区長の協力のもと、野外で作業をする場合の注意事項や駆除方法などについて、回覧などによる近隣住民への注意喚起を行っているところです。</p>	環境課

第7回古賀市基本構想審議会における事前質問・意見と回答【全体】

No.	資料	ページ	質問・意見	回答	担当部署
9	資料4 資料6	- 18ページ	基本目標のすべての項目に、あえて「すべての人が」と記載されています。当たり前のことであると同時に、施策を展開していく上では、利害が反する場合もあるのではないかと感じます。	ご指摘のとおり、さまざまな施策を展開するうえで、利害が反することはあると考えております。しかしながら、可能な限り利害を調整して、「すべての人」にとって望ましい状態をめざすことが必要であると考えております。	経営戦略課
10	資料6	14ページ	第4章として「市の重要政策課題」が挙げられています。基本構想においては、分野別の課題に基づく基本目標・政策・施策が展開されていますが、分野を超え、市全体として、重要政策課題への取組みを明確にしておく必要があるのではないかと思います。	重要政策課題は、全政策分野に大きく影響するものであり、相互に関連・影響することから、すべての政策の効果を連動させながら、同時に解決していくことが重要としております。 すべての政策案について、このような視点で検討してきております。	経営戦略課
11	資料6	-	以前の会議において、他分野との連携を明記すると回答されていたと認識していますが、記載しないこととされたのでしょうか。	他分野との連携の必要性については十分認識しており、お示ししている案（14ページ：市の重要政策課題）に、「相互に関連・影響するものであり、すべての政策の効果を連動させながら、同時に解決していくことが重要」と記載しております。 例えば、子育て、教育、青少年、地域保健、介護予防、高齢者福祉、障がい者福祉、地域福祉、観光、公共交通など多くの政策・施策において地域との連携が必要であること、道路網の整備と公共交通、高齢者の孤立防止と防犯対策、道路を含む公共施設の整備におけるユニバーサルデザインの採用など、可能な限り、他分野との連携を意識した記載をしております。	経営戦略課